



1 学年通信

五所川原高校
令和5年6月号

「高校総体を通して学んで欲しいこと」

高校総体お疲れ様でした。1年生ですから選手として出場できた人は少なかったかもしれませんが、出場した人も、応援した人も持てる力を全て出し切ってくれたのではないのでしょうか。

「出る前に負けること考えるバカいるかよ!」これはアントニオ猪木氏の名言の一つです。高校総体に向けた練習真っ最中の生徒に対して、例えば「総体では勝てますか?」と聞けば、全ての生徒からこの言葉が返ってきて欲しいと思っています。これまでの実績がどんなに足りなくても勝つことを信じて最善の準備をして欲しいし、総体に限らず勉強であっても最初から負ける理由を作って欲しくないと思っています。これは高校総体を通して学んで欲しいことの一つです。しかし、このこと以上にもう一つ学んで欲しいことがあります。それは「絶対に勝つ(絶対に叶える)」と決意して臨んだ大会で思うようなパフォーマンスが発揮できず負けた時、その瞬間に襲われる、悔しさ、辛さ、やり場のない怒りなどを含んだ感情にどう向き合うかということです。自分が敗れた相手をリスペクトし、襲われるマイナスの感情を誰のせいにもせず自らが引き受け、次の目標へ向かって立ち上がることが求められます。このことを経験し学んで欲しいのです。高校総体は勝者(チーム)が全国で1人(1チーム)だけです。ですから、全力を注いだらば全ての人に対して必然的にこの課題が突きつけられます。だからこそ高校総体には教育的な価値があるのだと思います。納得のいかない結果であっても、その事実を正面から受け入れ前を向く。そんな強くしなやかな人になって欲しいと願っています。



第1回 PTA 1 学年部会のお知らせ

日時 7月1日(土) 10:00~(9:30受付開始)

場所 本校体育館(参加人数によっては変更あり)

日程

○進路講演会 10:00~11:00

「大学受験の基礎知識と子どもとの接し方
~高校生を持つ親として~」

講師 ベネッセ東北支社長 張 乙清 氏

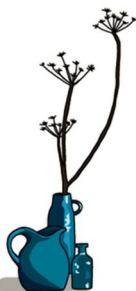
○全体会 11:10~12:15(予定)

- ・理数科編成について
- ・学科選択について
- ・修学旅行について
- ・三者面談について
- ・生徒の様子について

など

詳細と出欠については後ほど文書を配布いたします。

※第2回 PTA 1 学年部会は10月21日(土)の予定です。



立佞武多講演会

立佞武多を毎年制作して下さっている立佞武多同好会コーチであり、本校卒業生の三上勇氏から立佞武多の歴史などについて講演していただきました。この祭りのルーツや概略、制作の手順などを詳しく丁寧に説明していただきました。市内の高校が作る立佞武多がなぜ巨大化したのか等、印象的なお話でした。



総合的な探究の時間（前半の山場）

特命

「自分の好きな分野に興味を持つ人を増やせ」

～君たちにはプレゼンの機会を3分間だけ与える～

第1回 6月8日(木)⑦ グループ編制—主題決定—プレゼンの内容検討・情報収集

第2回 6月15日(木)⑦ プレゼンの内容検討・情報収集—スライドと説明原稿の作成

第3回 6月22日(木)⑦ プレゼンの内容検討・情報収集—スライドと説明原稿の作成—プレゼンの練習

第4回 7月13日(木)④ クラス内発表会(プロトタイプを使ったプレゼン)—意見交換—プレゼンの修正

第5回 8月31日(木)⑦ 分野別発表会(各クラスの同分野選択者が指定された教室に集まって行う)

第6回 9月21日(木)⑦ 学年内発表会(第5回を勝ち抜いた各分野の代表グループが発表する)

※発表後に興味を持った分野への投票を実施します。



毎週木曜の7校時に実施している「総合的な探究の時間」前半の山場の活動が始まりました。今回は基本的にはクラス単位で8分野(人文・経済・教育・医療・福祉・農学・理工・情報)に分かれてグループ編成し、グループごとに決めた主題を調べて3分間のプレゼンを作成します。8月31日に各分野の発表会を行って代表のグループを決め、9月21日には各分野の各代表グループが学年全体に対してプレゼンします。発表が終わったらどの分野のプレゼン内容が一番興味を持ったのかについて投票を行います。他の分野の選択者の興味を引き出せれば任務完了です。

立佞武多の紙貼りが始まりました。今年はどんな姿になるのか。
今から完成が待ち遠しいです。

